



## オイスカ浜松国際高等学校環境 SDGs プロジェクトの 市長表敬訪問について

静岡県 SDGs スクールアワード 2023 において、高等学校の部の最優秀の「県教育長賞」を受賞した、学校法人中野学園オイスカ浜松国際高等学校環境 SDGs プロジェクトが受賞報告のため市長を表敬訪問します。当日のご取材をお願いいたします。

### 記

1 日時 2024年2月14日(水) 午後4時15分から4時30分まで

2 会場 浜松市役所 秘書課応接室(本館5階 秘書課内)

3 訪問者 7人(生徒5人、引率2人)

学校法人中野学園 オイスカ浜松国際高等学校 環境 SDGs プロジェクト

- ・2年リーダー 安里 成海(あさと なるみ) 女子硬式野球部
- ・2年副リーダー グェン ファム トルン フィ マリンスポーツ部
- ・2年 山田 海優(やまだ みゆう) 生徒会長、女子バレー部
- ・1年リーダー見習い 長谷部 帆夏(はせべ ほのか) 天文部
- ・1年 深津 愛(ふかつ あい) 天文部

《引率》

- ・校長 鬼石 貞治(おにいし さだじ)
- ・教諭 荻 哲也(おぎ てつや) 環境 SDGs プロジェクト顧問

### 4 受賞した取組の概要

タイトル:『自然の魅力を伝えたい 高校生スポーツビーチクリーン実行委員会』

私たちが住む浜松市には、日本三大砂丘のひとつと言われる「中田島砂丘」があります。

ここにしかない自然環境、景観があります。風によって砂上に風紋という波の縞模様ができ、ドラマのロケ地や浜松祭りの凧揚げ会場、アカウミガメの産卵地としても有名です。海岸湿地や砂丘には、カワラハンミョウなどの希少生物(絶滅危惧種)が確認されています。

私たちは、H13年から、中田島砂丘のアカウミガメの保全、海岸クリーン運動を行い、あらたに砂丘の侵食問題、海岸林の枯れ拡大問題に向き合い、そして東日本大震災の教訓から学び、「災害に強く、美しい海岸を目指した」Eco-DRR活動に取り組んでいます。

サステナブルな活動にするために、私たちの活動を知ってもらう、参加しやすい取組を始めています。

※生態系を活用した防災・減災(Eco-DRR: Ecosystem-based Disaster Risk Reduction)は生態系の保全・再生を通じて防災・減災や生物多様性を含めた地域の課題を複合的に解決しようとする考え方で、Eco-DRRには、洪水緩和に向けた湿地の保全・再生や、土砂災害の防止や水源涵養を目的とした森林整備、沿岸域の海岸防災林や河川の水害防備林の保全など、様々な自然災害を対象とした幅広い取組が含まれます。(引用元:環境省自然環境局 生物多様性センターHP)



### ※静岡県 SDGs スクールアワード 2023 の概要

- ・ 静岡県教育委員会が開催するアワード。
- ・ 持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた、児童生徒による地域課題解決の取組を推進し、県内に SDGs の理念を広く根付かせることが目的。
- ・ 2022 年度に初開催され、2023 年度は 2 回目の開催。
- ・ 小学校の部、中学校の部、高等学校の部、特別支援学校の部の 4 部門に分かれ、それぞれに県教育長賞、優秀賞が表彰される。その他、協賛企業による企業賞がある。

